2025-2026年度

Rotary
丸亀ロータリークラブ

UNITE FOR GOOD
よいことのために
手を取りあおう

RI会長
フランチェスコ・アレッツォ

まるがめ

週報

会 員 数 42 名　出席者.33名・欠席者8名・免除会員5名

2025.12.11
Vol.63
№17
（2996）

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会　　長　細谷　誠
幹　　事　松村　昌子
会報委員長　内海　慶介

お知らせ

∵ 12月のプログラム
4 (No.1)-年次総会
11 (No.2)-ｸﾗﾌﾞﾌｫｰﾗﾑ・卓話
18 (No.3)-忘年家族会

∵ ニコニコBOX;
会長ノミニー幹事ノミニー
無事に決定しました
大熊君
良いことがありました
山本君

<ニコニコ会計累積/￥124,500>

∵ がんばるBOX;
来年一年よろしくお願い
申し上げます
岡田君
お誕生日ありがとうございます
松村君
早退します
夏見君
頑張ります
和泉君
卓話ありがとうございます
峠君
クラブフォーラムを終えて
陶國君

<がんばる会計累積/￥93,000>

例会場・事務局　丸亀市塩飽町48―1　丸亀プラザビル

■副会長挨拶
細谷会長が、体調不良により欠席となりましたので代わってご挨拶させていただきます。ここ最近の例会は、SAAの尽力により席の座り方を変えまして以前より会話の量が増えたようです。とても良い雰囲気だと思います。
今後とも続けていただければと思います。

■幹事報告
①米山功労者第7回マルチプル 夏見良宏会員
②委嘱状
・青少年奉仕委員会新世代小委員会委員　飯間広太郎会員
・長期戦略委員会委員　和泉清憲会員
③ロータリー国際大会　台湾　令和8年6月13日～6月17日
皆さんぜひご参加ください。

■例会事業;クラブフォーラム;世界社会交流委員会　陶國委員長
会員卓話;峠直樹会員

●臨時総会
2026-27年度役員選挙が実施され、会長に和泉清憲会員、副幹事に内海慶介会員が指名され承認されました。
和泉清憲会員の会長エレクト就任が確定し、副会長就任に伴う中期計画委員会理事には富田隆造会員が満場一致で選任されました。

●クラブフォーラム:世界社会交流委員会 陶國 委員長

短期交換留学プログラムについて、改めてお話しさせていただきます。今年もアメリカ・ニュージャージー州から20名の高校生を受け入れ、日本からも20名を派遣しており、本当に活発に交流が進んでいます。昨年度は女子高校生2名を4泊5日で受け入れたのですが、一緒にたこ焼きを作ったり、丸亀城やうちわ作り体験、四国水族館に行ったりと、盛りだくさんの時間になりました。和菓子作りやBBQ、花火、ソフトテニスの部活参加などもあり、どの場面も学生たちが本当に楽しそうでした。言葉の問題は心配していましたが、結局は翻訳アプリで十分コミュニケーションが取れましたし、こちらもとても勉強になりました。（ここで過去の短期留学生受け入れ経験者から）
岡田会員からはカラオケで盛り上がった話や、以前受け入れたドイツのリーダーのおもしろいエピソード。
森高会員からは10年以上続く交流の話なども聞かせていただいたエピソード。
受け入れ側にとっても大きな価値があり、この事業は、若い学生たちにとってはもちろん、ホストファミリーにとっても刺激があり、家族の成長にもつながる素晴らしい機会です。特にお子さんのいるご家庭には良い経験になりますので、ぜひ今後の受け入れにご協力いただければと思います。

●会員卓話:峠 直樹 会員

本日は私の歩みと、税理士として大切にしている思いについてお話しさせていただきます。
私は1968年、峠鍛冶商店の跡取りとして生まれ、幼い頃は肥満児でソフトボールに熱中し、中学では吹奏楽部の部長を務めました。母の言葉に背中を押され丸亀高校へ進学しましたが、高校・大学時代は勉強よりも部活や遊びに力を注ぎ、成績は芳しくありませんでした。

2025.12.11
Vol.63
№17
（2996）

大学卒業後、家業を見ていただいていた税理士さんから「税理士になったらどうか」と勧められたことが、私の人生を変える転機となりました。独学では太刀打ちできず東京の専門学校に通い、四畳半で不安を抱えながら猛勉強し、何とか3科目に合格。しかし持続力が尽き帰郷し、結婚・子育てをしながら再受験。最初の科目から15年かけてようやく全科目に合格しました。その代償として離婚も経験し、「税理士と結婚した覚えはない」と言われたことは今も胸に残っています。

平成20年に丸亀で事務所を開業しましたが、1年目の収入は30万円。誰も来ない日々が続きました。それでも“5年は辛抱”と信じ努力を重ね、今では6名の仲間と働けるようになりました。

経営理念は「正しさを求め、思いに寄り添い、共にあり続ける」ことです。

「人は皆幸せになるために生まれている。仕事と家庭の両方が充実してこそ幸せが訪れる」

「判断を誤らせる最大の原因は人の欲である」

この二つの言葉を胸に、客観的な立場からお客様の正しい判断を支える事務所であり続けたいと考えています。

今後も規模を追わず、目の届く範囲で、共に成長できる組織を築いてまいります。